

## 平成26年度(第1回)「国有林モニターアンケート調査結果」の概要について

国有林を開かれた「国民の森林」とするために、国有林モニターにご登録いただいた皆様からご意見やご要望をお聴きするため、アンケート調査を実施しましたので紹介します。

いただきましたご意見については、国有林野の管理経営や広報活動の参考として、今後の近畿中国森林管理局の各種取り組みに活かしていきます。ご協力ありがとうございました。

1 調査時期	平成26年7月
2 調査対象者	国有林モニター 65名
3 調査方法	アンケート用紙の郵送による回答、HP上での回答
4 回収状況	アンケート依頼 65名 アンケートの回答 61名 アンケート回答率 94%
5 モニターの 配置状況	管内、各府県ごとに、1～19名。

### 6 モニターの構成

区分	男性	女性	計
20代	2	2	4
30代	4	5	9
40代	8	7	15
50代	8	6	14
60代上	17	6	23
計	39	26	65

### 7 アンケート結果と意見(概要)

- (1) 成熟した森林資源を伐採し、利用した上で跡地に再造林を行う「若返り」の必要性について、80%の方が若返りは必要とする回答でした。
- (2) 日本の木材供給にあり方について、78%の方が「できるだけ国産材でまかなうべき」という回答でした。一方で、15%の方が「国産材、輸入材のどちらでも良い」という回答でした。
- (3) 国有林に期待する働きとして、「水資源を蓄える働き」(21%)、「山崩れや洪水などの災害を防止する働き」(17%)、「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き」(15%)となり、森林のもつ公益的機能の発揮に期待が寄せられている結果となりました。
- (4) 治山対策において最も優先的に取り組む必要があるものについて、間伐等の森林整備が半数以上を占めていました。
- (5) 治山施設等への木材利用について、94%の方が積極的に利用すべきとする回答でした。このうち、65%の方が「森林資源の有効活用のため積極的に利用すべき」という回答でした。
- (6) 普段の生活の中で、96%の方が地球温暖化を実感されていました。一方で、「京都議定書」の第1約束期間において、我が国の温室効果ガス削減約束6%(1990年比)のうち、3.8%分を森林吸収量で対応していたことをご存知であった方は37%でした。
- (7) 地球温暖化防止対策の取組みについて、関心の高いものとして「自然再生エネルギーによる発電(太陽光、水力、風力、木質バイオマスなど)」(37%)、「工場などの産業部門における温室効果ガスの削減」(33%)、「家庭で行う地球温暖化対策の推進(節電、太陽光電池の普及など)」(12%)でした。
- (8) 民有林に期待する働きとして、「木材生産や林産物生産(きのこ等)」(34%)、「災害防止」(15%)、「地球温暖化防止」(15%)となり、林業経営に次いで森林のもつ公益的機能の発揮に期待が寄せられている結果となりました。また、民有林に期待する働きを発揮するためには、71%の方が国や市町村が直接管理を行うべきという回答でした。
- (9) 間伐等の手入れの行き届かない民有林や伐採後再造林されない民有林について、65%の方が「山地災害の発生」を危惧されていました。
- (10) フォレスターの役割について、期待の高いものとして「市町村森林整備計画の案についての関係者への説明と合意形成」(28%)、「森林経営計画を作成しようとする森林所有者等に対する指導・助言」(26%)でした。一方で、11%の方が「フォレスターの役割が分からない」という回答でした。

- (11) 自宅を建設する場合を仮定した国産材の使用については、94%の方が国産材の使用を希望されていました。
- (12) 国産材や木製品を多くの方に使ってもらう方法として、「輸送費、製材費等のコスト削減による低価格化」、「マスコミを活用した啓発活動の推進」、「体験学習などの教育の推進」、「林業家の育成」などのご意見をいただきました。
- (13) 公共建築物への木材利用について、希望が高かったものとして「小学校や中学校の校舎などの学校施設」(44%)、「スポーツ施設や図書館などの社会教育施設」(17%)、「病院などの医療施設や老人ホームなどの福祉施設」(13%)でした。
- (14) お住まいの地域で見かける木造建築の公共施設として、「学校・幼稚園」、「公園内の施設」、「介護・児童施設」などの回答が多く、「落ち着いた雰囲気と温かみがある」、「安心感がありリラックス効果がある」などの印象をお持ちでした。
- (15) 新たな建築用資材として注目を集めているCLT(直交集成材)について、37%の方がご存知でした。
- (16) 再生可能エネルギーによる発電について、「太陽光発電」(50%)に次いで「木質バイオマス発電」(31%)に関心が寄せられました。  
木質バイオマス発電については、「未利用材を有効活用した森林の健全化」、「農山村の振興」などに期待するご意見をいただきました。
- (17) その他の意見として、「広報活動の推進」、「獣害対策に係るジビエ料理の推進」、「外国資本による森林買収への対策」などの意見、要望が寄せられました。